授業科目名	スポーツパフォーマンス学特講演習	授業形態	演習	授業科目区分	応用科目 (ｽﾎﾟｰﾂ総合科学)
担当教員名	前田　明・金高　宏文・山本　正嘉・髙橋　仁大・竹中　健太郎			補助担当者名	
単位数	2　単位	履修年次	－	受け入れ人数	－
授業の概要 及び達成目標	スポーツパフォーマンス学とは何かを理解し、自身でも論文の作成ができるようになるための方法論を学ぶ。当該研究の発表の場である『スポーツパフォーマンス研究』に掲載された過去の論文をふまえ、実際にスポーツパフォーマンスの測定・調査や分析を行い、自身のデータをもとに実践研究の論文としてまとめる。				
成績評価の方法	□学期末試験の成績（％）　□出席状況（％）　■授業への取り組み状況（50%） ■レポート等の提出状況（50%）　を総合的に評価する。				
成績評価の基準	授業への積極的な参加態度および実践研究論文の達成度から総合的に評価する。『スポーツパフォーマンス研究』をはじめとする実践的な研究論文を掲載する雑誌への執筆・投稿を目指し、成果があればそれも評価に加える。				
テキスト、教材 参　考　書	テキスト：『体育・スポーツ分野における実践研究の考え方と論文の書き方』福永哲夫・山本正嘉編著、市村出版（2018） 参考書：『スポーツパフォーマンス研究』（http://www.sports-performance.jp/）にこれまでに掲載された研究論文				
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッセージ含む)			
オフィス・アワー	随時だが、事前にアポイントをとることが望ましい 前田（明）（スポーツパフォーマンス研究センター） 金高（大学院棟3階　4教員室） 髙橋（研究棟8階809教員研究室） 山本（ｽﾎﾟｰﾂﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ教育研究ｾﾝﾀｰ２階ｾﾝﾀｰ長室） 竹中（研究棟5階507教員研究室）				

授業計画

回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、ﾚﾎﾟｰﾄ等課題の指示)
1	前田　明	実践研究における論文執筆のオリエンテーション	授業内容の予習と復習（60分）
2	金高　宏文	実践研究の論文テーマを検討する①	授業の振り返りとテーマの検討・プレゼン用意（60分）
3	〃	実践研究の論文テーマを検討する②	授業の振り返りとテーマの検討とプレゼン用意（60分）
4	〃	実践研究の論文テーマを検討する③	授業の振り返りとテーマの整理（60分）
5	髙橋　仁大	実践研究の論文構成を検討する①	授業内容の予習と復習（60分）
6	〃	実践研究の論文構成を検討する②	授業内容の予習と復習（60分）
7	〃	実践研究の論文構成を検討する③	授業内容の予習と復習（60分）
8	竹中　健太郎	実践研究のデータを測定・分析する①	授業内容の予習と復習（60分）
9	〃	実践研究のデータを測定・分析する②	授業内容の予習と復習（60分）
10	〃	実践研究のデータを測定・分析する③	授業内容の予習と復習（60分）
11	山本　正嘉	実践研究の成果を口頭発表する①	授業の振り返りとテーマの検討・プレゼン用意（60分）
12	〃	実践研究の成果を口頭発表する②	授業の振り返りとテーマの検討・プレゼン用意（60分）
13	〃	実践研究の成果を口頭発表する③	授業の振り返りとテーマの検討・プレゼン用意（60分）
14	前田　明	実践研究の成果を論文としてまとめる①	授業内容の予習と復習（60分）
15	〃	実践研究の成果を論文としてまとめる②	授業内容の予習と復習（60分）